



夏の夜空を楽しもう!

今年の夏の夜空は、南の空に土星があり、8月8日の明け方に部分月食、8月13日にペルセウス座流星群がピークを迎えます。



星望観望会は、土日の午後7時~8時30分、予約と参加料100円が必要です。くわしくはホームページを見てみよう。

土星を見てみよう

7月下旬の午後8時ごろ、土星は南の空に見えています。探す目印はさそり座の1等星、赤く光るアンタレス。その東側で黄色く光っているのが土星です。明るさは0等星。南西に見えるマイナス2等星の木星とともにかがやいています。

望遠鏡で見た特徴は環(リング)です。1枚の板のように見えますが、小さな氷や岩の粒などが集まってできています。今年は環の傾きが大きく見やすい年です。見ごろは7月から9月初めごろ。この夏は、望遠鏡で“土星”を見てみよう!

ペルセウス座流星群

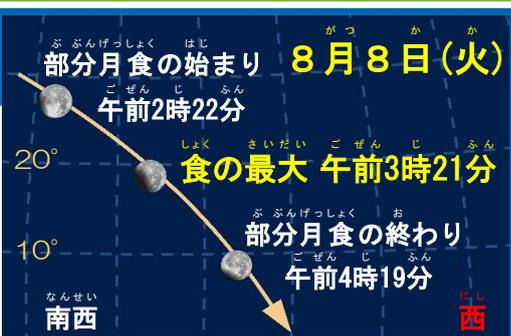
今年は、8月12日(土)深夜から8月13日(日)明け方にピークを迎えると予想されています。流星群の流れ星は、星座の中のある一点(放射点)を中心に様々な方向に流れるので、夜空のどこに現れるかはわかりません。

観察には、空を広く見渡せる街灯の少ない場所がおすすめです。今年は、東の空にある月が暗い流れ星を見えにくくします。観察するときは月がなるべく見えない方を向きましょう。流れ星の観察に特別な道具は必要ありません。外に出て目が慣れるまで、少なくとも15分間は観察しましょう。



部分月食

8月8日(火)の明け方、満月の一部が欠ける部分月食がおこります。月が欠けていく様子は、肉眼でも十分見えます。



星望観望会は、必ず大人と一緒に行きましょう。安全には十分注意しましょう。

図はすべてステラナビゲータで作成。写真は、80cm大型望遠鏡で撮影。